

# 早稲田大学 vs 駒澤大学

9月14日(日)  
13:50K.O.  
日立

後期開幕戦、自分たちの持ち味を発揮したのが早大。堅守の試合を見せてくれた。

「立ち上がりの時間にどんだんアクションを起こしてゴール前でも勝負ができ、点を決められたことや勝利できたことは大きかったと思っている」

と、古賀聡監督も納得のいく内容だった。一方で、「相手の強力な2トップに長いボールが入り、相手にボールを収められたところからチャンスを作られてしまっていた。二つ目のボールをマイボールにしていけるための準備を疎かにしてはいけない」(古賀監督)

逆転優勝ということを見ると、もっと質の部分を上げていかなければいけない。

「次は駒大戦だが徹底してスペースを突いてくると思うので、それに対して自分たちはプレッシャーをかけて、こまめにポジションを修正して先手を取り続けたい」(古賀監督)

対する駒大は初戦、国士大に1-2の敗戦。セットプレーから先制点を奪ったが、その後2失点。何とも悔しい結果となってしまった。

「動き出しやサポートが少なかった。なかなか連動ができなかった」(秋田浩一監督)

もう一つ、チームとしてステップアップしていく必要がある。

しかし、敗戦スタートとはいえ、決してチームの調子は悪くない。

「上に行くために落とせない試合なので、気持ちが入った試合になると信じている」(秋田監督)

前期リーグ後半戦のように、旋風を巻き起こすことができるかどうか!?

警告3回：伊藤慎人、板倉直紀(以上駒大)

前期の対戦：早大3-1(シュート数6-9)駒大

早大				駒大			
18. 平澤	8. 堀田	27. 新田	15. 須貝				
4. 金沢	14. 山内		4. 平尾				
	24. 佐藤		10. 板倉				
1. 松澤		9. 小牟田	22. 森				
	2. 奥山	8. 斎藤					
3. 田中	9. 宮本	5. 伊藤	3. 川岸				
5. 新井	7. 近藤貴	11. 小牧	16. 柳川				

# 専修大学 vs 明治大学

9月14日(日)  
14:20K.O.  
味フィ西

最下位の筑波大に1-0の辛勝だった専大。しかも、得点時間は後半45分と、まさに薄氷を踏む勝利だった。

立ち上がりは決して悪くなくチャンスも作ったが、そこで決めることができずに苦しい戦いを強いられた。それでも後半45分に1点を奪って、しっかりと勝点3を重ねて首位をキープした。ケガ人が出るなど、ベストメンバーではないところは不安材料だが、

「今までよりもフォーメーションやメンバーを変えて試しているの、もう少しいろいろなことをできるようにしたい」(岩淵弘幹コーチ)

総理大臣杯からなかなか攻撃の流れをつかむことができず、専大の強みである運動量も発揮できていない。一方で、守備陣は奮闘しているだけに、何とか勝利を続けていきたいところだ。

後期リーグ注目の1チーム、明大。総理大臣杯を制した流経大とのゲームは1-0の完封勝利となった。

「開幕戦で勝って非常によかった」(栗田大輔監督)

守備がいい両チームの対戦だったが、なかなかスコアが動かず難しい試合だったが、後半39分に値千金のゴールを決めて勝点3を勝ち取った。

「流経大はパワーのあるチーム。それに対して動かない

で落ち着いてサッカーができ、流れを持つてくることのできた」(栗田助監督)

前期リーグ、やや不安定だった守備がしっかりとしてきたことはプラス材料。一方で、

「時間帯によってルーズボールを拾われたり、セカンドボールを拾われ点と、明大が得意とする運動量で負けていることが多かったのは反省点」(栗田助監督)

いきなりの好カードが実現。勝って勢いに乗るのは!?

警告3回：小谷光毅(明大)

前期の対戦：専大1-1(シュート数10-7)明大

専大				明大			
5. 小口	11. 前澤	8. 石原	13. 小出				
29. 柳			3. 山越				
	34. 大戸	11. 藤本	7. 差波				
28. 蔦	8. 星野	9. 山川	1. 三浦				
	7. 北出	29. 土屋	16. 水町				
3. 萩間			5. 松藤				
2. 北爪	18. 東	9. 矢島	6. 高橋				

※布陣は前節を参考にした予想メンバー

## JR東日本カップ 2014 第88回 関東大学サッカーリーグ戦

# OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.26-NO.13 Division1



編集：加茂郁実 発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：関東大学サッカーサポーターズクラブ

## 後期開幕戦は、順当に前期上位チームが勝利!!

第88代王者をかけて戦う「JR東日本カップ2014 第88回関東大学サッカーリーグ戦」。9月6日に後期リーグが開幕したが、その初戦を簡単に振り返ってみよう。

前期リーグを首位で折り返した専大は、最下位・筑波大とのゲーム。両チームともなかなか波に乗り切れず0-0の時間帯が続いたが、専大が試合終了間際に値千金のゴールを決めて、悪いなりに1-0で勝利を収めた。筑波大は互角の戦いだったものの、勝ちきれなかった。

2位の順大は11位・中大とのゲーム。前半23分に先制点を奪うとその後も加点し、4-0の完勝。後期も健在という姿を見せた。中大は早急に守備面での立て直しを図りたい。

3位・早大は10位の東国大戦。早大らしいしっかりとした守備をベースに戦い、1-0と僅差ながら勝点3をゲットした。

前期4位と好調だった慶大は、残留争い中の桐蔭大との一戦。後期になっても堅いディフェンスは健在で、無失点で終えた。一方の攻撃面ではシュート5本と決して多くはなかったが、それでも2ゴール。慶大らしき試合だったといえるだろう。

5位から逆転優勝を狙う明大は、総理大臣杯で優勝した流経大との一

得点ランキング		アシストランキング	
前澤 甲気(専大)	9点	北出 雄星(専大)	5アシスト
山根 視来(桐蔭大)	7点	堀田 稜(早大)	4アシスト
佐野 翼(順大)	6点	以下3アシスト10名	
藤本 佳希(明大)	6点		

戦。後期開幕戦の中でも好カードといえる対戦で、緊迫した試合展開が続いたが、後半36分に明大がゴールを決めて1-0で勝利を収めた。

6位の国士大は、3年ぶりに1部に復帰した駒大とのゲーム。駒大は後半4分に先制点を奪うまではよかったが、その後2失点。逆に、国士大は先制点を奪われても粘り強く戦い、2-1と逆転勝利を収めた。

前期リーグの上位6チームがすべて勝利という、波乱なき幕開けとなったが、試合内容を見れば紙一重のものが多かった。2節以降、どういった戦いが繰り広げられるのか注目だ。

## JR東日本カップ 2014 [第88回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	専大	順大	慶大	早大	明大	国士大	駒大	流経大	桐蔭大	東国大	中大	筑波大	勝数	点数	負数	総得点	総失点	得失点差	勝点
1	専大	1●2 11月16日	2△2 11月26日	3○0 11月9日	1△1 9月14日	2○0 10月26日	6○0 10月19日	2○1 10月4日	5○2 9月21日	2○0 9月27日	4○2 10月12日	2○0 10月12日	9	2	1	31	10	21	29
2	順大	2○1 味フィ西	0●1 9月13日	0△0 10月25日	0△0 11月9日	2○1 11月2日	1○0 9月28日	3○1 9月21日	4○1 10月18日	2△2 10月5日	2○1 4月0	2○0 10月12日	8	3	1	22	8	14	27
3	慶大	2△2 100	1○0 千葉東総	0●2 11月16日	0●2 9月28日	2○0 10月5日	2○0 11月8日	0△0 10月26日	2○0 2月0	0●2 10月12日	2○1 10月19日	1○0 9月20日	7	3	2	15	7	8	24
4	早大	0●3 BMWス	0△0 早大G	2○0 味フィ西		1●2 11月2日	3○1 9月14日	3○1 10月19日	1△1 10月12日	0△0 1月0	2○1 10月5日	1○0 9月28日	7	3	2	16	9	7	24
5	明大	1△1 味フィ西	0△0 夢の島	0●2 古河	2○1 中大G	2○3 11月15日	0●1 10月12日	0●1 1月0	4○1 10月26日	1○0 10月18日	1△1 9月21日	3○1 10月4日	6	3	3	17	11	6	21
6	国士大	0●2 味フィ西	1●2 フクアリ	0△0 中大G	1●3 味スタ西	3○2 味スタ西	2△2 10月12日	2△2 2月1	1○0 11月9日	1△1 9月27日	2○1 9月27日	3○0 10月18日	6	3	3	18	15	3	21
7	駒大	0●6 味フィ西	0●1 千葉東総	0●2 江戸徳	1●3 日立	0●2 味スタ西	2△2 1月2	3○0 11月15日	3○2 10月5日	1○0 9月20日	2○1 11月2日	4○3 10月26日	5	1	6	17	24	-7	16
8	流経大	1●2 古河	1●3 味フィ西	0△0 味フィ西	1△1 味フィ西	1○0 味スタ西	1○2 味スタ西	0●3 味スタ西	0●1 味スタ西	1●2 味スタ西	0●1 味スタ西	0●1 味スタ西	3	2	7	11	18	-7	11
9	桐蔭大	2●5 BMWス	1●4 千葉東総	0●3 0●2	0△0 BMWス	1●4 保土ヶ谷	2●3 味フィ西	2○1 古河	0●1 古河	2○0 11月15日	1●3 9月13日	3○1 11月1日	3	1	8	14	27	-13	10
10	東国大	0●2 東国大G	2△2 味フィ西	2○0 味スタ西	0●2 0●1	0●1 川口	1△1 川口	0●1 千葉東総	3○4 古河	0●2 古河	1○0 10月25日	1△1 11月8日	2	3	7	10	17	-7	9
11	中大	2●4 BMWス	1●2 0●4	1●2 味スタ西	1●2 中大G	1△1 味フィ西	1●2 東国大G	1●2 中大G	0○1 たつこの	3○1 駒沢陸上	0●1 東国大G	0△0 11月15日	1	2	9	11	22	-11	5
12	筑波大	0●2 0●1	0●2 ひたちなか	0●1 味スタ西	0●1 千葉東総	1●3 古河	0●3 江戸陸	3●4 古河	1○0 たつこの	1●3 古河	1△1 たつこの	0△0 古河	1	2	9	7	21	-14	5

体育会学生のための

リクナビ就職エージェント

ただ、自分に勝ちたい。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

RECRUIT

# 国士館大学 vs 東京国際大学

9月13日(土)  
13:50K.O.  
川口

駒大に2-1の勝利を収めた国士大。「開幕戦で勝点3を取れたことは、残り10試合を戦ううえでいいキッカケになると思う。やってきたことが間違っていなかったという証になる」(細田三三監督)

先制点を奪われながらもしっかりと逆転に成功しただけに、細田監督もほっと胸をなでおろした。

前期はなかなか調子が出ず、総理大臣杯には出場したものの、PK戦の末に2回戦敗退。自信を失いかけたチームにとって、この勝利は大きい。

「駒大はパワープレーをさせたら一番強いチームだと思うけれど、その相手に失点を1に抑えられたのは自信になったと思う」(細田監督)

前期はやや守備に不安定な部分があっただけに、この粘り強い守備を続けていきたい。

前期から成長したプレーを見せたかった東国大だが、前半7分にいきなりセットプレーの流れから失点。

「すぐにやられてしまった。経験のなさが出た。攻守の切り替えのところで気を抜くと、勝負の世界ではやられてしまう」(前田秀樹監督)

相手の早いリスタートに準備ができていなかった。しかも、この1失点で勝点3を失ってしまっただけに、シ

ョックは大きい。

ただ、試合全体としては、「早大相手にそこそこやれた。惜しいチャンスもあった。前期が終わり、2カ月間練習してきたことが、この1試合でやれたと思う」(前田監督)

という手応えも得ている。ケガ人が多く1年生が多数出場しているだけに、試合を通してどんどん成長していきたい。

**警告3回：海野智之(国士大)、福島遼(東国大)**

**前期の対戦：国士大1-1(シュート数4-8) 東国大 国士大 東国大**

2. 藤寄	10. 進藤	8. 上船	6. 新聞	
15. 附木	11. 平松		15. 舩田	
	6. 海野		23. 成田	
21. 久保田		9. 福島	4. 加藤	21. 今野
	8. 松本		20. 安東	
3. 福田	20. 山口		5. 鈴木	
25. 中村	17. 高見	7. 小玉	2. 大森	

# 順天堂大学 vs 慶應義塾大学

9月13日(土)  
13:50K.O.  
東総

前期を2位で折り返した順大。後期もこの勢いが続くか注目されたが、初戦でいきなり中大に4-0の完勝。「前期に作ってきた守から攻をベースに、もう一つ上を目指している。高い位置でボールを奪いながらシュートまで持っていくというコンセプトは変わらなかった」(吉村雅文監督)

そういった自分たちのサッカーをしっかりと表現した格好だが、これを続けていけるかどうか。今節の慶大は守備に定評があり実にしっかりとしたチーム。順大はもともと大量得点できるタイプではない。後期開幕戦で4ゴールを挙げたことで攻撃が雑になってしまうようだ、今後、苦戦を強いられるだろう。

「後期開幕戦はケガ人だらけだった。ようやく戻ってきて合流した選手が多い中で、4週間、青木翼(3年)と新井一耀(3年)は教育実習で不在。緊張感を持ちながら、他の選手もメンバー入りするチャンスのある4週間になればいい」(吉村監督)

その中で、しっかりと勝点を積み重ねられるか。

前期4位と好調の慶大。後期開幕戦も桐蔭大に2-0と完封勝利を収めた。

「1カ月間、練習してきたものを出そうということで、

まず守備をしっかりとやる。90分間集中して相手に自由を与えなかったということでは、いいゲームだったと思う」(須田芳正監督)

前期、リーグ最少失点のディフェンス陣は健在。後期も安定した力を見せてくれそうだ。一方で、「相手陣内でもう少し幅広く、余裕を持って回せたと思う。そこはうまくできなかった」(須田監督)

攻撃の部分では、さらに質を上げていきたい。

**警告3回：溝淵雄志(慶大)**

**前期の対戦：順大0-1(シュート数7-7) 慶大 順大 慶大**

2. 友澤	10. 長谷川竜	13. 加瀬澤	4. 保田	
4. 谷奥		15. 平戸	2. 久保	
	7. 内山		18. 浅間	
21. 大畑	24. 室伏	9. 佐野		1. 峯
	6. 長谷川涼		8. 山浦	
20. 矢部		10. 端山	6. 望月	
3. 吉永	8. 新里	7. 川田	14. 井上	

# 桐蔭横浜大学 vs 中央大学

9月13日(土)  
13:50K.O.  
駒沢陸上

慶大に0-2の完封負けを喫した桐蔭大。「まだまだ力が足りないということだと思う。ただ、まだ始まったばかりだから、ここから盛り返したい」(八城修監督)

2年連続で1部の壁の厚さに苦しんでいるが、「試合中、選手同士でボールの要求ができるようになってきたし、ロッカールームでも選手たちの向上心が見られた。そういう点はよかったと思う」(八城監督)

着実に成長を遂げているだけに、勝点に結びつけたいところ。

前半30分までは理想とするサッカーができていたが、33分に失点するとそこから崩れてしまった。特に、後半の戦い方には課題が残った。たとえ先制点を奪われても、自信を持って最後まで戦い抜きたい。

前期からなかなか勝点を奪えず、11位と降格圏内の中大。ここからは1試合1試合が大事な戦いになるが、前節の順大戦はまさかの4失点。攻撃面でも1ゴールも奪えず、0-4の完封負けを喫してしまった。

「今のままではダメだということに気づけたことはよかった。危機感を持ってやらなければいけないことを、選手もわかってくれたはず。何をすべきかがバラバラで、

共通理解をもたなければいけない」

試合後の白須真介監督も厳しい表情を浮かべた。

2点のリードを奪われた後半に中大も猛攻を仕掛けたが決めきれず、逆にミスをつかれてさらに2失点。どうにも歯車がうまくかみ合わない状況だが、「下を向いても下はないし、こういう状況に目をそむけても力はないので、もう一度整理して今日の結果をプラスにできるようにしたい」(白須監督)

**警告3回：金子雄祐(桐蔭大)、岡崎亮平、橋本龍馬(以上中大)**

**前期の対戦：桐蔭大1-3(シュート数7-10) 中大 桐蔭大 中大**

19. 中島	7. 山根		20. 橋本		
24. 時田		32. 小形	3. 木村		
	5. 大野		17. 飯干		
21. 田中	13. 岡本	11. 石川	9. 内田	8. 三島	1. 前田
	20. 林		7. 渡辺大		
4. 古澤		10. 砂川	5. 岡崎		
3. 石堂	8. 山崎		2. 縣		

# 流通経済大学vs筑波大学

9月14日(日)  
13:50K.O.  
たつこの

総理大臣杯で2連覇を達成し、全体のレベルの高さや試合巧者ぶりを見せつけた流経大。後期台風の目ということで前節の明大戦も注目が集まったが、結果は0-1の敗戦となってしまった。ただ、黒星スタートも中野雄二監督は気にならない様子。

「負けたことは悔しいが、内容的には走っていたし、よかったと思う」

と手応えを先に口にした。自分たちもしっかりと戦ったが、それ以上に明大がよかったというのが正直な感想なのだろう。

1失点したものの総理大臣杯以降、ディフェンス面で統率が取れているのが大きい。ここからいかに勝ちきっていくかということだが、今節は前期の最終戦で敗戦を喫してしまった筑波大が相手。

「下位争いをする事だけは絶対に避けたいので、絶対に勝たなければいけない試合」(中野監督)

最下位と苦しんでいる筑波大。前期11試合中、1勝しかできなかっただけに、後期は勝点を積み重ねていきたいが、後期開幕戦は首位の専大に0-1の敗戦。

「夏の中断期間、点数を取るところに関してしっかりやってきたつもりだったが、もう少しやっていかな

ければいけない」(中山雅雄監督)

関係面もだいぶ整備され、いいパスワークからフィニッシュの場面も作れていたが、「決めきれなかった」(中山監督)

また、少なくとも前節の専大戦は引き分けで終えることはできたはず。試合終了間際の後半45分での失点は、何としても避けなければいけなかった。こういった試合を勝ちきれる粘り強さが必要だろう。

**警告3回：西村洋平、車屋紳太郎(以上筑波大)**

**前期の対戦：流経大0-1(シュート数10-12) 筑波大 流経大 筑波大**

4. 鈴木	20. 江坂	6. 片岡	4. 浅岡	
18. 今津			8. 早川	
	6. 富田		13. 齋藤	
21. 吉田	23. 森永	17. 中野誠		1. 岩脇
	19. ジャーメイン		10. 中野嘉	
	25. 古波津		7. 車屋	
3. 田上			5. 西村	
2. 湯澤	7. 森保	20. 野口	3. 三丸	

※布陣は前節を参考にした予想メンバー